

卒業後70年 あらためて常盤台を想う

機械科23年卒 山田 一男

昭和23年常盤台を巣立った私は、昨年卒業後70年目(古希)を迎えた。昨年末届いた「常盤」82号の「原稿募集」記事を見て、当時の思い出を綴ってみたくなった。

〔終戦直前の入学〕

昭和23年卒業組が入学したのは終戦の年、昭和20年6月、学徒動員の延長で2カ月遅れの入学であった。その頃の日本は落ち着いて勉強できるような環境ではなかった。東京、大阪等の大都市をはじめ、軍需工場のある地方都市は、毎日のようにどこかが米空軍の空襲にさらされていた。それを迎え討つべき日本の戦闘機は1機もいなかった。宇部とても同じこと、7月にはB29が大挙来襲し、宇部窒素や宇部油化等の工場地帯から小野田にかけて、爆弾や焼夷弾の洗礼を受けた。私たちは常盤台で切歯扼腕しながらただ眺めているだけであった。このような状況の中で何をどう勉強したかは、軍事教練を除いてほとんど覚えていない。こうして勉強らしい勉強もしないうちに8月15日が来た。この日、重大放送があるからと教官、生徒会員が体育館に集められた。放送は始まったが聞こえるのはガーガーピーピーと雑音ばかり、10分余りで放送は終わり、校長の話から戦争が終わったことを知った。皆はただ呆然とするばかりであった。この状況下では勉強が手につくはずもない。それに極度の食糧不足である。学校はとにかく休校するしかなく、9月末までの夏休みを決め生徒は帰省していった。

〔学校が始まる〕

10月1日予定どおり授業が始まった。この頃には終戦直後の混乱はおさまってはいたも

の、食糧をはじめ生活物資の不足は、国民の多くを窮迫のどん底に陥れていた。そうした状況下で再開された授業であったが、教官も生徒も「苦しい中でも勉強できるのだ」という一点に思いを集中して授業に取り組んだ。その内容は基礎と専門合わせて15の教科が1日6～7時間、週6日間ビッシリ詰め込まれていた。1学期は2カ月遅れで始まったうえに終戦もあったことから、このようなタイトな授業が組まれたのであろうが、皆がんばってサボる者はいなかった。しかし食糧不足による空腹だけはどうしてもなかった。寮生にとっては配給の米麦だけが頼みの綱であるが、1日わずか8勺程度では、20才前後の若者にとっては1食分にも満たない。苦肉の策で寮生が目をつけたのが、寮の前に広がる常盤台の畑の野菜であった。「夜襲」と称して夜こっそりといただきに出かけた。じゃがいも、さつまいも、かぼちゃ、大根等が狙い目であった。幸い寮の裏には雑木林があり、枯枝を拾ってきて火鉢で燃やし、飯盒をかけて戦利品の野菜をゆでて食べたが、忘れることのない苦い思い出である。農家の人は工専生も腹を減らしているのだからと、大目に見てくれていたらしく、学校に苦情が持ち込まれることはなかった。

このような苦しい状況の中でも、生徒は授業や学校行事に熱心に取り組んでいた。写真1は、広くて寒い実習室で製図に励んでいる生徒の風景で、右端が私である。また学校では年に何回か、他の大学等から著名な教授を招き特別講義を実施していた。写真2は東京工大・海老原教授の特別講義後の記念写真で、

椅子にかけている4人の中央右が海老原教授、左が山岡機械科長である。

空腹を抱えての学校生活であったが、体育祭や文化祭等は皆張り切って参加していた。

写真3は、体育祭での機械科応援団のスナップである。秋の文化祭は演劇、軽音楽、コーラス等盛りだくさんの出し物があり皆を楽しませてくれた。中でも記憶に残っているのが、演劇の『ベニスの商人』である。名前は忘れたが、脚本、演出、主演を一人でこなす兵がいて劇を盛りあげていた。工専にもこういう文化人？がいたのだと感心したものだ。〔終わりに〕

悲喜交々の学生生活を終えた私は運よく日製作所に入社し、地元山口のK工場に配属されて30年間勤めた。50才の時、新設の系列企業に出向して新業務に就いた。60才の時ストレスが高じて心筋梗塞を発症し、危うく命を落すところであった。医師の強い勧めもあって定年退職し、2年間静養を重ねて晴耕雨読の日を送っていた頃、友人に誘われて彼の設計会社の派遣社員として、宇部のU興産で輸出プラントの業務を手伝うことになった。2年間の予定であったが、プラント事業部には機械科の卒業生も数人いて、それぞれのポジションで活躍していたことにも助けられ、延期延期で古希の70才まで8年間、楽しく仕事



写真1 製図室



写真3 体育祭での機械科応援団

をさせていただいた。常盤台を巣立った技術屋の雛が、42年後成鳥となって宇部に舞い戻り、70才まで働いたのであるが、宇部と70という数に何かしら因縁めいたものを感じるのも、冥土への出発が近づいた90才という齢の所為かもしれないと、つくづく思う今日この頃である。



写真2 東京工大・海老原教授の特別講演後の記念写真